

— 株主のみなさまへ —



第84期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花

あずきの皮使用



べにこんごう
あずき混抄紙 **紅金剛**

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



代表取締役会長 (CEO)
浅田 剛夫

代表取締役社長 (COO)
中島 伸子

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第84期(2020年4月1日～2021年3月31日)を終了し、株主報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当会計年度期間は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞や感染防止を目的とした消費者の生活様式の変化が生じ、対応が容易でない経営環境となりました。しかしながら、お客様への提供価値増強に加え、高騰が続いていた主要原料である小豆価格の平準化、生産性向上活動などの効果が表れ、当期純利益は前期を上回り、増益のご報告をさせていただくことになりました。

また、2020年10月には持株会社制移行10周年という節目を迎えることができました。次の10年に向けて各事業会社が互いにシナジーを発揮するHUB型経営をさらに進化させてまいります。

第85期(2021年4月1日～2022年3月31日)は新・中期3カ年計画「Be Resilient 2023 ～新しい時代をしなやかに生きる～」がスタートしました。魅力ある新しい価値の提供による着実な成長を目指すため、新 credo を制定し、DXやイノベーションの推進、人材育成強化による生産性向上を図ります。これらの活動を通じた「バランス経営」によりレジリエンスのある企業体制を構築するとともに、社会との共生を意識して行動し、持続可能な「継栄(けいえい)」を目指します。

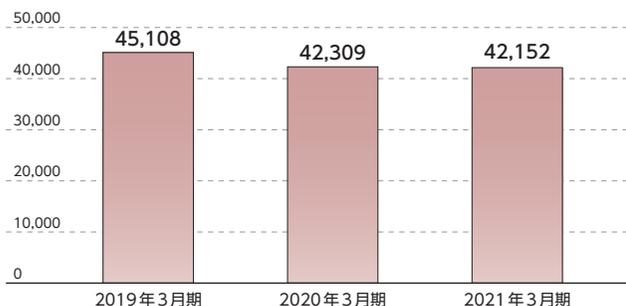
今期は、多くのステークホルダーの皆様にご満足いただける価値提供を行う企業となるための「覚悟の年」と位置づけ、不確実な社会環境においても変革を実行し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

売上高

単位:百万円



営業利益

単位:百万円



経常利益

単位:百万円

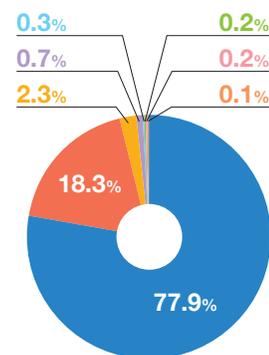
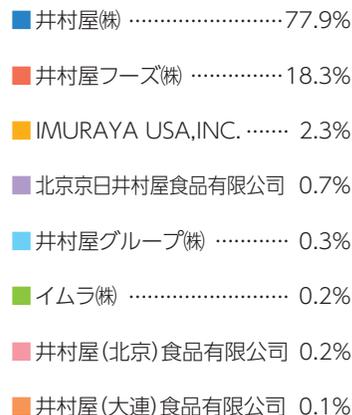


親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



持株会社及び事業会社別の売上高



井村屋グループ新・中期3カ年計画

Be Resilient 2023 ~新しい時代をしなやかに生きる~

井村屋グループは2021年度からスタートする「Be Resilient 2023 ~新しい時代をしなやかに生きる~」を策定しました。新しい時代で生き残っていくため、この中期3カ年計画の変革課題を「バランス経営」と定めています。しなやかでバランスのとれた経営を行い、持続可能な「継米」を目指して、目標達成に向けて邁進してまいります。

2023年度目標

<財務指標>

- 売上高 465億円
- 営業利益 19億円
(売上営業利益率 4.0%)
- 海外事業売上高比率 7.5%

<非財務指標>

- 温室効果ガス排出削減
2013年度比 35%減
- 国内事業廃棄物量削減
2019年度比 50%減
- 女性管理職比率 15%以上

※当社は、2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた指標となっております。

連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

| | 前連結会計年度末 2020年3月31日 | 当連結会計年度末 2021年3月31日 |
|-------------|------------------------|------------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 10,032 | 9,841 |
| 現金及び預金 | 1,184 | 839 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,053 | 5,017 |
| たな卸資産 | 3,198 | 3,203 |
| その他 | 596 | 782 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 固定資産 | 19,375 | 19,628 |
| 有形固定資産 | 16,875 | 16,766 |
| 無形固定資産 | 169 | 148 |
| 投資その他の資産 | 2,329 | 2,712 |
| 資産合計 | 29,407 | 29,469 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 11,803 | 11,254 |
| 固定負債 | 2,179 | 1,966 |
| 負債合計 | 13,983 | 13,220 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 13,451 | 13,794 |
| その他の包括利益累計額 | 1,902 | 2,377 |
| 非支配株主持分 | 70 | 76 |
| 純資産合計 | 15,424 | 16,248 |
| 負債・純資産合計 | 29,407 | 29,469 |

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

資金決済に伴う現預金の減少及び売掛金の回収による減少などにより、流動資産は減少しました。退職給付に係る資産の増加や投資有価証券の時価評価額の増加などにより、固定資産が増加した結果、総資産は増加いたしました。

POINT 2 負債

短期借入金の返済や長期リース債務の減少により、負債は減少いたしました。

POINT 3 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益の増加やその他有価証券評価差額金の増加などにより、純資産は増加いたしました。

連結損益計算書(要約)

単位:百万円

| | 前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで | 当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 42,309 | 42,152 |
| 売上原価 | 29,565 | 29,176 |
| 売上総利益 | 12,743 | 12,976 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,384 | 12,223 |
| 営業利益 | 359 | 753 |
| 営業外収益 | 166 | 201 |
| 営業外費用 | 97 | 33 |
| 経常利益 | 427 | 921 |
| 特別利益 | 255 | 390 |
| 特別損失 | 239 | 225 |
| 税金等調整前当期純利益 | 443 | 1,087 |
| 法人税等合計 | 303 | 424 |
| 当期純利益 | 140 | 662 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 2 | 5 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 137 | 657 |

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1

冷蔵カテゴリーや食品カテゴリーが伸長しましたが、コロナ禍による市場変化の影響もあり、点心・デリカカテゴリーの「肉まん・あんまん」や外食産業のスイーツ各店舗の売上が減少いたしました。

POINT 2

高騰が続いていた主要原料の小豆価格が平準化し、生産性向上活動を全グループで強化したことにより、売上原価が低減しました。販管費においても旅費等の削減を含め、SCM効果により人件費や在庫保管コストが減少したため、経常利益が増加いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

| | 前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで | 当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,352 | 3,571 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,497 | △ 1,308 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,365 | △ 2,362 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 22 | 15 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △ 1,533 | △ 83 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,716 | 1,183 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,183 | 1,099 |

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、仕入債務及び未払金が増加いたしました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、有形固定資産の取得による支出が減少いたしました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、リース債務の返済による支出が減少いたしました。

連結株主資本等変動計算書(要約)

単位:百万円

| 2020年4月1日から 2021年3月31日まで | 株 主 資 本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配 株主持分 | 純資産合計 |
|-----------------------------|---------|-------|-------|------|--------|------------------|----------------|--------------|------------------|-------------------|-------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 土地再評価 差 額 金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当 期 首 残 高 | 2,576 | 3,808 | 7,069 | △ 3 | 13,451 | △ 77 | 1,942 | △ 6 | 44 | 1,902 | 70 | 15,424 |
| 当 期 変 動 額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 314 | | △ 314 | | | | | | | △ 314 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 657 | | 657 | | | | | | | 657 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 0 | △ 0 | | | | | | | △ 0 |
| 土 地 再 評 価 差 額 金 の 取 崩 | | | △ 0 | | △ 0 | | | | | | | △ 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | 151 | 0 | △ 2 | 326 | 475 | 5 | 481 |
| 当期変動額合計 | - | - | 343 | △ 0 | 342 | 151 | 0 | △ 2 | 326 | 475 | 5 | 823 |
| 当 期 末 残 高 | 2,576 | 3,808 | 7,412 | △ 3 | 13,794 | 74 | 1,942 | △ 9 | 370 | 2,377 | 76 | 16,248 |

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

| | |
|----------|--------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 50,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 13,086,200株 (自己株式1,724株を含む) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 9,091名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 701 | 5.36 |
| 株式会社百五銀行 | 578 | 4.42 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 559 | 4.27 |
| 井村屋取引先持株会 | 540 | 4.13 |
| 株式会社第三銀行 | 490 | 3.74 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 338 | 2.58 |
| 株式会社サンライフ | 321 | 2.45 |
| 株式会社りそな銀行 | 286 | 2.18 |
| 株式会社西村商店 | 239 | 1.82 |
| 株式会社榎本武平商店 | 214 | 1.63 |

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

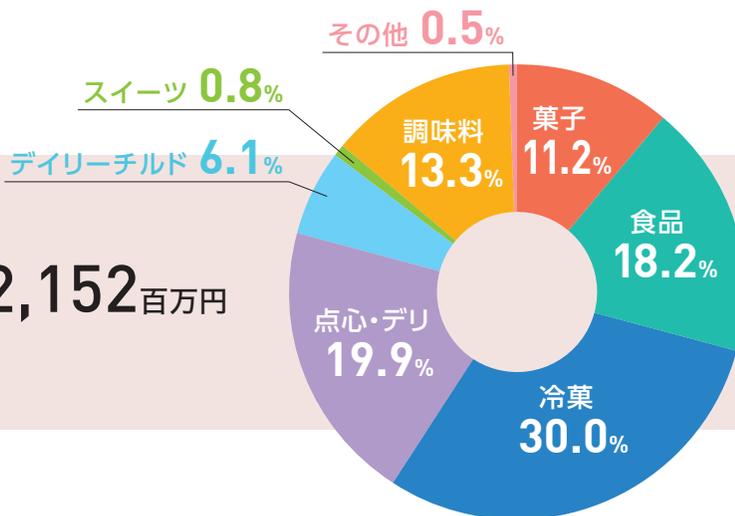
株主様へのインフォメーション

| | |
|-----------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 公告の方法 | 電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部 |

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

連結売上高 42,152百万円



菓子 4,694百万円 (前年比6百万円(0.1%)増)

あずきの煮汁に含まれる栄養素を用いた「片手で食べられる小さなようかん」や機能性の高い「えいようかん」が伸びました。また、ご家庭で簡単に解凍して食べられる冷凍和菓子の新商品「4コ入大福(つぶあん)」「4コ入きなこおはぎ(つぶあん)」「4コ入あん入黒糖わらび餅(こしあん)」を3月より発売し、順調なスタートとなりました。一方「ギフト類」の売上は減少となりました。



食品 7,687百万円 (前年比925百万円(13.7%)増)

コロナ禍による内食需要の高まりもあり、「カップおしるこ」「レンジで簡単おしるこ」「レンジで簡単ぜんざい」が大きく伸びました。また、「冷凍パックまん」では「4コ入冷凍パックまん」シリーズや「ゴールドまん」シリーズの売上が増加し、大豆を使用したコレステロールゼロの健康志向の新商品「2コ入大豆ミートまん」や、家庭内需要をテーマとした「2コ入ホットケーキまん」も好評をいただきました。井村屋フーズ株式会社の食品加工事業ではレトルト商品の内食需要増や新規の取り組みにより受託加工が増加しました。



冷菓 12,630百万円 (前年比1,073百万円(9.3%)増)

冷菓商品は「あずきバー」シリーズが過去最高の売上本数になるとともに、「やわもちアイス」シリーズは、リニューアルした「BOXやわもちアイスバニラ」や「BOXやわもちアイス抹茶わらびもち」が好調に推移し売上が増加しました。また、ボールアイスシリーズの新商品「メロンボールkids」も順調なスタートとなりました。加えて、海外輸出が順調に推移し、輸出売上高は前期比37.0%増加しました。



点心・デリ 8,381 百万円 (前年比1,347百万円(13.9%)減)

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーは、付加価値の高い新商品の開発・販売に取り組みましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛の影響があって、オフィス街を中心としたコンビニエンスストアでの販売が苦戦し、減少しました。



デイリーチルド 2,578 百万円 (前年比256百万円(9.1%)減)

「豆腐類」ではコロナ禍で外食向け業務用商品の需要が減少しました。また、「チルドパックまん」は販売価格の見直しを図り、売上は苦戦しましたが、収益性は改善を図ることができました。



スイーツ 351 百万円 (前年比240百万円(40.6%)減)

スイーツカテゴリーでは、各店舗で品質管理と感染防止対策を徹底し、お客様満足の向上に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大により出店している商業施設や百貨店の要請を受け、休業や営業時間を短縮するなど、大幅に客数減となりました。



調味料 5,611 百万円 (前年比308百万円(5.2%)減)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、新規顧客獲得やお客様ニーズに対応した商品提案に取り組みました。一時的に内食需要増による受注の増加がありましたが、コロナ禍の影響で業務用とみやげ用の素材原料の受注減少により売上が伸び悩みました。中国での調味料事業においても、新型コロナウイルスの影響が大きく、中国国内の売上が減少しました。



その他 216 百万円 (前年比10百万円(4.8%)減)

イムラ株式会社では、井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」は新型コロナウイルスの影響により4月から6月において開催を中止しましたが、再開した7月以降は前年を上回って推移しました。しかし、イオンスタイル津南に出店している「ソフトアイスクリーム&スイーツ店Wai Wai (ワイワイ)」においては、コロナ禍の影響もあって客数が減少しました。また、本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店しておりました「imuraya Sweets Shop irodori」は9月30日をもって閉店させていただきました。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬頃にお送りいたします。以下は、2021年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト

次の2種類からお一つお選びいただけます。

アイスクリーム&冷凍和菓子詰合せ



マイギフト MG-15



※②でアイスクリーム&冷凍和菓子詰合せをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

北海道あずきバー



小豆をはじめとする原料すべてを「北海道産」に限定したあずきバーです。北海道産の小豆とビートグラニュー糖、オホーツクの塩だけで作り、これまでよりも更に小豆のおいしさを堪能できる、こだわりの「あずきバー」に仕上げました。

4コ入冷凍和菓子シリーズ



おいしく便利な冷凍和菓子に「4コ入大福(つぶあん)」「4コ入きなこおはぎ(つぶあん)」「4コ入あん入黒糖わらび餅(こしあん)」が登場しました。冷凍だからこそ、しっとりみずみずしい「あん」のおいしさをぜひお楽しみください。賞味期間が1年と長いので、まとめ買いしておけば自然解凍または電子レンジ解凍で、いつでも和菓子をお召し上がりいただけます。

井村屋ウェブショップ



井村屋公式通販サイトならではの豊富な品揃えで皆さまの食生活にうれしい!の笑顔をお届けします。長年愛される人気商品から、こだわりの商品まで幅広い商品を販売しています。

<https://www.imuraya-webshop.jp/>



上記商品は「井村屋ウェブショップ」でもお買い求めいただけます。

酒事業がスタート

新たな事業として、三重の豊かな風土が育む清らかな水と良質な酒米を使用し、テロワール^{*1}に根差した酒造りを行います。また、四季醸造^{*2}にこだわり、いつでもつくりたての美味しいお酒をお届けいたします。7月20日^{*3}から清酒「福和蔵 純米酒／純米吟醸酒」を出荷・発売する予定です。通販サイトのほか、三重県多気町に開業した商業リゾート施設「VISON」(ヴィソン)内にオープンする直営店舗「福和蔵」においても販売いたします。

同様に「VISON」内では「菓子舗井村屋」にて、創業以来受け継がれてきた伝統と新しい感性が織りなすこだわりのお菓子を販売します。清酒「福和蔵」を使用した酒饅頭や地元の食材を使用した季節のお菓子などを取り揃える予定です。



▲(左)純米酒(生酒)・純米吟醸(生酒)各720ml、
(右)酒饅頭

※1 テロワールとは、ワインやコーヒー等の生産に関わる用語として「土地(土、土壌、大地)の要素」「気候の要素」「人的要素」を総合した生産環境のことを指し、味覚を決定する重要な要素とされています。当社においても清酒の味を決める重要な要素として、三重という豊かな風土で育まれた素材にこだわり、日々よりよい酒造りを行います。

※2 四季醸造は、年間を通じて清酒醸造を行うことをいいます。外気温が高い季節に清酒醸造を行うと、品温が上がりすぎ品質のよい酒ができないため、清酒の醸造は通常冬季に行われています。当社では、清酒醸造工程の機械化と温度管理など品質管理を徹底することで四季醸造を行っていきます。

※3 直営店舗「福和蔵」「菓子舗井村屋」ともに「VISON」第3期開業の2021年7月20日にオープン予定です。

スパウチ新工場竣工

井村屋フーズ(株)中原工場では、スパウチ飲料事業の拡大を目的に、老朽化したスパウチAラインの更新とともに、省人化や生産性向上による事業継続拡大を目指し、スパウチ新工場Cラインを建設しました。

スパウチ新工場は最新の充填機を導入した一方で、調合及び殺菌は従来の設備を移設しております。これにより、従来の製品特性を活かしたまま、さらなる品質の向上を図ることができます。



水ステーション・充電ステーション設置 津市災害時における支援協力協定に調印



停電時にもいち早く復旧するコージェネレーションシステムを活用し、防災井戸へ電気を供給することで飲料にも対応可能な生活用水を提供できる「水ステーション」、スマートフォンを充電できる「充電ステーション」を本社に設置しました。

津市と災害時における支援協力協定を結び、津市南部地域で大規模な災害が発生した際、一時的に避難できる駐車スペースとして本社の一部を提供するほか、この水ステーション・充電ステーション・トイレをご利用いただけます。これらの活動を通じて地域への貢献を図ります。

※この活動はSDGsの17の目標のうち、「11.住み続けられるまちづくりを」に該当する取り組みです。



津市長 前葉 泰幸様 弊社代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫

太陽光発電稼働開始



井村屋(株)本社工場に太陽光発電設備を設置し、2021年2月より稼働を開始しました。今回設置した太陽光発電では、年間約649,500kwhの発電量、約280tのCO₂排出削減を見込んでいます。2020年1月に竣工したコージェネレーションシステムとあわせて、環境にやさしいエネルギーシステムの活用推進を図り、さらなるCO₂排出量削減を進めてまいります。

※この活動はSDGsの17の目標のうち、「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に該当する取り組みです。



お赤飯の素20周年＆お赤飯友の会

2001年に発売した「お赤飯の素」が発売20周年を迎えました。「お赤飯の素」は、白米と一緒に炊飯器で炊くだけでおいしいお赤飯ができる利便性があり、ご好評いただいております。また、健康面でもさらにご満足いただけるよう、小豆を増量するなどの改良を行いました。本年度は「お赤飯友の会(おせきファンとものかい)」というお赤飯ファンクラブを立ち上げました。専用サイトにご登録いただいた会員様のハレの日にあわせて「お赤飯の素」や限定グッズをプレゼントいたします。会員様向けのキャンペーンも実施予定です。



無料でかんたん登録!

その他特典は入会サイトをチェック



持株会社 概況(2021年6月18日現在)

井村屋グループ株式会社

| | |
|---------|--|
| 本社所在地 | 三重県津市高茶屋七丁目1番1号 |
| 創業 | 明治29年(1896年) |
| 設立 | 昭和22年(1947年)4月 |
| 資本金 | 2,576百万円 |
| 従業員数 | 43名 ※グループ全体では964名(2021年3月31日現在) |
| 事業内容 | 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理 |
| 役員・執行役員 | 代表取締役会長(CEO)(CMO) …… 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) …… 中島 伸子 取締役副社長 …… 菅沼 重元 取締役副社長 …… 岩本 康 専務取締役(CFO) …… 富永 治郎 取締役 …… 岩上 真人 取締役 …… 前山 健 取締役 …… 大西 安樹 取締役(社外) …… 西岡 慶子 取締役(社外) …… 田中 里沙 取締役(社外) …… 福谷 朋子 常勤監査役 …… 脇田 元夫 常勤監査役 …… 森井 英行 監査役(社外) …… 若林 正清 監査役(社外) …… 土田 繁 執行役員常務 …… 行方 貞彦 執行役員常務 …… 井村 慎 執行役員常務 …… 近藤 久嗣 執行役員常務 …… 甲斐下方俊 執行役員常務 …… 益川 博 執行役員常務 …… 小川 篤 執行役員 …… 岡田 孝平 執行役員 …… 尾崎 弘二 |

(注)取締役西岡慶子氏・田中里沙氏・福谷朋子氏の三氏は社外取締役であります。監査役若林正清氏・土田繁氏の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<https://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqjnbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2021年6月18日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社
所在地: 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容: 菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷菓、スイーツ、酒類の製造販売
代表者: 岩本 康 URL: <https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社
所在地: 愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容: 菓子、食品、冷菓、調味料、食品添加物の製造販売
代表者: 菅沼 重元 URL: <https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社
所在地: 三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容: リース代理店業務、不動産管理業務等
代表者: 中島 伸子 URL: <https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司
所在地: 中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
事業内容: 調味料の販売
代表者: 近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/jjif/>

井村屋(北京)食品有限公司
所在地: 中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
事業内容: 菓子、点心・デリの製造販売
代表者: 近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.
所在地: 2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容: 冷菓の製造販売
代表者: 浅田 剛夫、甲斐下方俊 URL: <https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司
所在地: 中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容: 菓子、調味料の製造販売
代表者: 近藤 久嗣 URL: <http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司
所在地: 中国北京市豊台区榴郷路88号 石榴中心11号楼101
事業内容: 中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代表者: 近藤 久嗣

井村屋スタートアッププランニング株式会社
所在地: 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容: グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
代表者: 大西 安樹

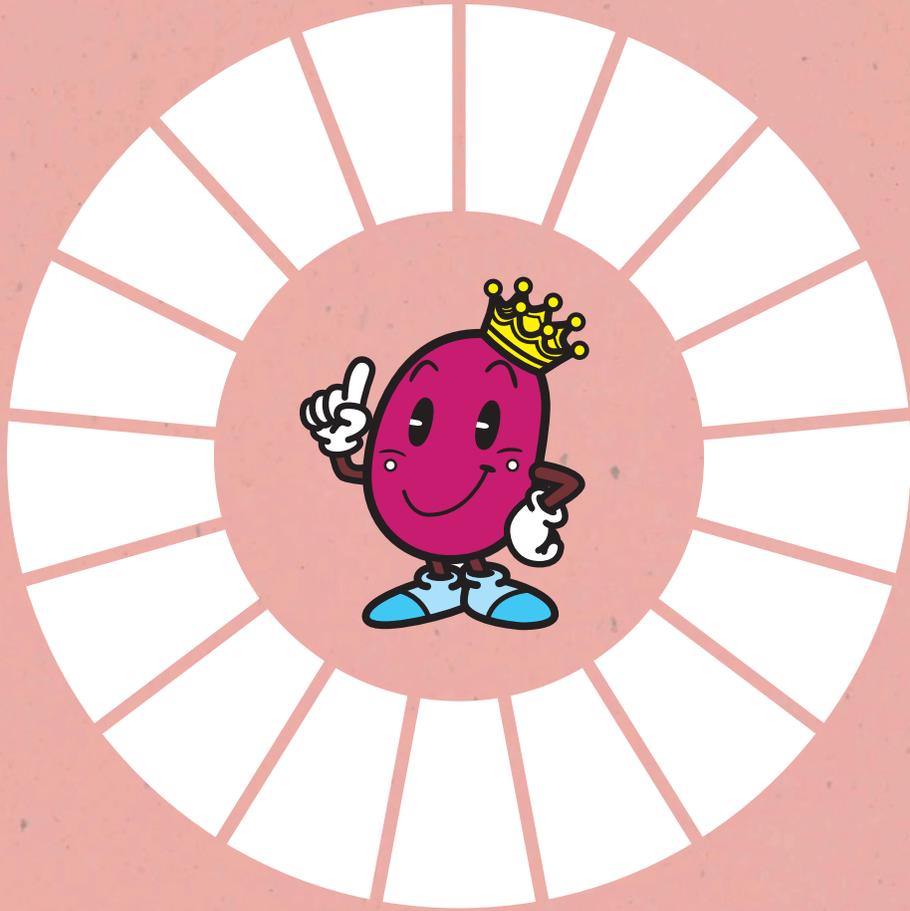
IMURAYA MALAYSIA SDN.BHD.
所在地: No.18-3, Jalan PJU 8/5c, Damansara Perdana, 47820 Petaling Jaya, Selangor
事業内容: 食品の製造、販売、輸出入
代表者: 大西 安樹



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



井村屋グループはSDGsの考え方を尊重し
グループ全体で社会性を重視した
サステナブル経営に取り組んでまいります。